

ボーリング柱状図

調査名 大野海岸早時地区海岸 海岸保全事業に伴う業務委託

ボーリングNo. 5 1 3 2 3 2 6 3 0 1 8

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	Bor. No. 17		調査位置	広島県廿日市市大野早時			北緯	34° 18' 01.8605"			
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	平成29年12月19日～平成29年12月20日			東経	132° 17' 31.2775"		
調査業者名				主任技師				現代理人	コア鑑定者		
ボーリング責任者				現場				ハンマー	半自動型		
使用機種				試験機	東邦D-1B58			ポンプ	東邦BG-3B		
エンジン				NS-110							
孔口標高	-2.20m		角	180° 上下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東		地盤勾配	鉛直 0° 90°	
総掘進長	10.00m										

標尺	層厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒度試験による土質区分	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		室掘	
										深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N	深	試験名及び結果	深	試料採取番号		
1			玉石混り硬質土	淡灰褐	細い			埋土。 長さ10～30cmの硬い玉石で構成される。 玉石間はφ5～70mmの角礫が混じる細～中粒の粘土質砂又は砂。		0.51	2	24	36	8					
2	-4.10	1.90	1.90	砂質シルト	暗青灰	軟らかい		比較的組成均質なシルト。少量の細粒砂が混じる。含水量はやや少なく、若干圧密が進む。 細～中粒砂。		1.15	2	7	1	28	43	4			
3	-4.90	0.80	2.70	シルト混り砂	暗灰	細い		シルト分を少量含み、シルト混じり砂～シルト質砂状をなす。 シルト分は深さ的に多くなる。		1.58	1	11	2	5	35	5			
4				シルト混り砂	暗灰	細い		深度4.00m付近まで貝殻片(牡蠣)が多く混じる。		2.15	ハンマー目録	0	55	0					
5				シルト混り砂	暗灰	細い		風化・変質が進行する。岩石組織は残すものの、微細砂又は細粒の砂・砂質土状。構成鉱物の深部まで風化が進み、石英に至るまで細粒化や粘土化している。		2.70	1	11	2	5	35	5			
6	-8.20	3.30	6.00	強風化花崗岩	淡乳灰			軟岩。 軟質な塊状又は柱状をなす。柱状部分は指先で押えたと容易に崩れる。 岩石の深部まで風化が進み、カリ長石や角閃石の細粒化・粘土化が顕著。 石英は汚染を受けるものの、φ1mm程度の砂状で残る。		4.50	2	3	4	9	31	9			
7	-9.70	1.50	7.50	風化花崗岩	淡灰褐					4.15	2	3	4	9	31	9			
8										4.46	2	2	3	7	30	7			
9										5.15	2	2	3	7	30	7			
10	-12.20	2.50	10.00							5.45	5	6	7	18	30	18			
11										6.15	5	6	7	18	30	18			
12										6.45	9	15	20	44	30	44			
13										7.15	9	15	20	44	30	44			
14										7.45	17	19	14	50	27	50			
15										8.15	20	25	5	50	22	50			
										8.42	20	25	5	50	22	50			
										9.15	21	25	4	50	22	50			
										9.37	21	25	4	50	22	50			
										10.15	21	25	4	50	22	50			
										10.37	21	25	4	50	22	50			